

わくわく子どもの池プロジェクト活動報告 青梅市立霞台小学校（2025 年 5 月活動）

2023 年にビオトープの造成を行った霞台小学校から、4 年生の時に造成作業を行った子どもたち（現小学 6 年生、2 クラス）向けに、池の増改築の授業実施の要望がありました。

ビオトープの環境は保たれているとのことで、多くの生きものがすみかとしているようです。

1 回目授業（2025 年 4 月 18 日 発表授業と池の確認）

小学 6 年生の発表授業に急遽参加させていただくこととなりました。

今年度の周年記念行事に向けて、子どもたちが各種企画を検討している中に、ビオトープの増改築計画も含まれているそうです。

子どもたちが考えた計画は以下のように意欲的な内容です。

- ・もう 1 つ池を造成して、新たに生きものを呼ぶ
- ・池に石などが投げ込まれるので、防止するための防犯カメラを設置
- ・観察用ベンチの設置
- ・鳥の巣箱設置 など

実際に実現可能かどうか、子どもたちと池の様子を確認することとしました。

池の中を確認すると、たくさんのヤゴがすみかとしていることが分かりました。

メダカも確認できますが、いろいろな種類のメダカが混じって雑種となっているようでした。さらに外来種のカダヤシもいるようでした。雑種のメダカ、カダヤシは取り除いた方がよさそうです。

現在の様子をさらに調査し、既存の池の改修の授業を実施することとなりました。



2回目授業（2025年5月20日 池の観察と整備）

5月のとても晴れた日に霞台小学校の現状調査と、池の改修を行います。

2023年に造成したビオトープでは、網で池底をすくって、生きものの種類・数を確認します。クロスジギンヤンマ・オオシオカラトンボ・シオカラトンボ・イトトンボ・オオアイトトンボのヤゴ、ヒメタニシ、メダカ、ヒメアメンボ、マメガムシがすみかとしていることが分かりました。水草にトンボの羽化殻（抜け殻）もありました。



以前の造成前の調査で東京都の絶滅危惧種ハラビロトンボがたくさんいた理科園の池では、ギンヤンマ・ハラビロトンボのヤゴ、ヒメタニシ、サカマキガイ、ヒメモノアラガイ、サビキコリが住んでいることが分かりました。



池の改修作業を行います。ビオトープ委員会の子どもたちが池の中に入り、池の中の石を取り除き、水草を池のふちに移動させます。他の子どもたちはむき出しになってしまったビオトープの防水シートの上に新たに草と土を並べ、シートにかぶせて保護する作業を行いました。



この日の作業では、むき出しになっているシートのすべての箇所に草・土をかぶせる作業が完了できなかったので、ビオトープ委員が中心となってさらに作業を進めることとなりました。今年度で卒業してしまうので、下級生たちに引き継ぎができるようこれから考えていきたいとのことです。

ビオトープが 2 年前に子どもたちが考えたとおり、トンボのヤゴのすみかとなっているのが分かりましたので、これから夏から秋にかけてたくさんのトンボが見られるといいですね。

以上